

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券	
信託期間	3年間（2013年6月28日～2016年6月27日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストークレディ・スイス・グローバルCB・ファンド（円ヘッジクラス）」（以下「グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）」）といひます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストークレディ・スイス・グローバルCB・ファンド（ノンヘッジクラス）」（以下「グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）」）といひます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
運用方法	為替ヘッジあり	①主として、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、魅力的な利回り水準を有する世界の転換社債（CB）に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
	為替ヘッジなし	①主として、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券を通じて、魅力的な利回り水準を有する世界の転換社債（CB）に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額から分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

# ダイワ・グローバル 高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

## 運用報告書（全体版） 第3期

（決算日 2015年3月10日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」は、このたび、第3期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<2674>

<2675>

★ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			受益者 受戻り	公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	元本 残存率
	(分配) 税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
設定 (2013年6月28日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% 100.0
1期末 (2014年3月10日)	10,025	280	305	3.1	4.3	0.1	99.0
2期末 (2014年9月10日)	10,007	100	82	0.8	3.2	0.1	98.2
3期末 (2015年3月10日)	9,827	100	△80	△0.8	1.8	0.0	99.3

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額の推移



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	公 社 債	投 資 信 託 受 益 証 券
			組 入 比 率	組 入 比 率
(期首) 2014年 9 月 10 日	円 10,007	% —	% 0.1	% 98.2
9 月 末	9,952	△0.5	0.1	98.4
10 月 末	9,909	△1.0	0.0	98.3
11 月 末	9,871	△1.4	0.0	98.8
12 月 末	9,825	△1.8	0.0	98.5
2015年 1 月 末	9,856	△1.5	0.0	98.3
2 月 末	9,913	△0.9	0.0	98.9
(期末) 2015年 3 月 10 日	9,927	△0.8	0.0	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：10,007円 期末：9,827円（分配金100円） 騰落率：△0.8%（分配金込み）

#### 【基準価額の変動要因】

魅力的な利回り水準を有する世界のCB（転換社債）に投資した結果、投資したCBは小幅に下落したため、基準価額は値下がりしました。また、外貨建資産への投資にあたっては、為替変動リスクを低減するために為替ヘッジを行なったことにより、為替相場の変動の基準価額への影響は軽微でした。

### ◆投資環境について

#### ○グローバルCB市況

グローバルCB市況は、上昇しました。期首から2014年10月前半にかけては、ドイツを中心とする欧州の低調な経済指標の発表や米国経済指標の一部下振れ、IMF（国際通貨基金）の世界経済見通しの下方修正、原油価格の下落などから世界経済への懸念が強まり下落しました。しかし10月後半以降は、日本の緩和的な金融政策、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の株式運用比率の引上げ観測、ECB（欧州中央銀行）による量的緩和策導入への期待などから、日本と欧州のCBを中心に反発する展開となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、ダイワ・プレミアム・トラストクレディ・スイス・グローバルCB・ファンド（円ヘッジクラス）（以下、「グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券を通じて、魅力的な利回り水準を有する世界の転換社債（CB）に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。また、通常の状態、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）の受益証券への投資比率は高位を維持しました。

○グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなってきました。償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、一部は残存期間の短い債券へ投資をしました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

◆分配金について

【収益分配金】

当期の1万口当り（税込み）分配金は100円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 《今後の運用方針》

○当ファンド

グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）の受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券に投資します。また、通常の状態、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっていくと見られます。従って今後償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券などの組入比率が上昇することが想定されます。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2014. 9. 11～2015. 3. 10)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	60円 (21) (37) (2)	0.605% (0.214) (0.375) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額(月末値の平均値)は9,891円です。 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.004 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	60	0.609	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2014年9月11日から2015年3月10日まで)

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外国(邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	4,034.977	377,516	10,909.707	1,050,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年9月11日から2015年3月10日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	—	—	4,991	5,000

(注) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2014年9月11日から2015年3月10日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	柄	口数	金額	平均単価	銘柄	柄	口数	金額	平均単価
		千口	千円	円	CS GLOBAL CB FUND (JPY HEDGED CLASS) (ケイマン諸島)		千口	千円	円
							10,909.707	1,050,000	96

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2014年9月11日から2015年3月10日まで)

決算期	当 期					
	買付額等 A		うち利害 関係人との 取引状況B	売付額等 C		うち利害 関係人との 取引状況D
区 分	百万円	%		百万円	百万円	
公 社 債	19,639	1,799	9.2	—	—	—
コール・ローン	429,971	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
CS GLOBAL CB FUND (JPY HEDGED CLASS)	105,293,259	9,862,609	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千口 9,990	千口 4,998	千円 5,007

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 9,862,609	% 97.4
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	5,007	0.0
コール・ローン等、その他	262,756	2.6
投資信託財産総額	10,130,373	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	10,130,373,308円
コール・ローン等	262,756,810
投資信託受益証券(評価額)	9,862,609,006
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	5,007,492
(B) 負 債	200,848,358
未払収益分配金	101,043,593
未払解約金	38,624,100
未払信託報酬	60,760,482
その他未払費用	420,183
(C) 純資産総額(A-B)	9,929,524,950
元 本	10,104,359,327
次期繰越損益金	△ 174,834,377
(D) 受益権総口数	10,104,359,327口
1万口当り基準価額(C/D)	9,827円

\*当期末の計算口数当りの純資産額は9,827円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は174,834,377円です。

■損益の状況

当期 自2014年9月11日 至2015年3月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	377,560,742円
受 取 配 当 金	377,516,508
受 取 利 息	44,234
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 39,470,291
売 買 益	3,546
売 買 損	△ 39,473,837
(C) 有 価 証 券 評 価 差 損 益	△365,517,237
(D) 信 託 報 酬 等	△ 63,741,078
(E) 当 期 損 益 金 (A + B + C + D)	△ 91,167,864
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	7,263,286
(G) 解 約 差 損 益 金	10,113,794
(H) 合 計 (E + F + G)	△ 73,790,784
(I) 収 益 分 配 金	△101,043,593
次 期 繰 越 損 益 金 (H + I)	△174,834,377

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程

・計算期間末における経費控除後の配当等収益が300,193,273円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益300,193,273円（1万口当り297.09円）を分配対象額として、うち101,043,593円（1万口当り100円）を分配金額としております。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	100円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《お知らせ》

●運用報告書（全体版）の電子交付について

2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に決めました。

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当しません。）には適用されなくなりました。

★ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジなし

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			受益者 受戻り	公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	元本 残存率
	(分配) 税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
設定 (2013年6月28日)	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% 100.0
1期末 (2014年3月10日)	10,562	280	842	8.4	12.0	0.1	97.4
2期末 (2014年9月10日)	10,486	300	224	2.1	8.8	0.1	98.1
3期末 (2015年3月10日)	11,118	300	932	8.9	11.7	0.1	99.1

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額の推移



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2014年 9月10日	円 10,486	% —	% 0.1	% 98.1
9月末	10,681	1.9	0.1	98.2
10月末	10,595	1.0	0.1	98.1
11月末	11,310	7.9	0.1	99.2
12月末	11,463	9.3	0.1	98.0
2015年 1月末	11,155	6.4	0.1	98.8
2月末	11,307	7.8	0.1	99.0
(期末) 2015年 3月10日	11,418	8.9	0.1	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：10,486円 期末：11,118円（分配金300円） 騰落率：8.9%（分配金込み）

#### 【基準価額の主な変動要因】

魅力的な利回り水準を有する世界のCB（転換社債）に投資した結果、投資したCBは小幅に下落したものの、為替相場は円安となったことから基準価額は値上がりしました。

### ◆投資環境について

#### ○グローバルCB市況

グローバルCB市況は、上昇しました。期首から2014年10月前半にかけては、ドイツを中心とする欧州の低調な経済指標の発表や米国経済指標の一部下振れ、IMF（国際通貨基金）の世界経済見通しの下方修正、原油価格の下落などから世界経済への懸念が強まり下落しました。しかし10月後半以降は、日本の緩和的な金融政策、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の株式運用比率の引上げ観測、ECB（欧州中央銀行）による量的緩和策導入への期待などから日本と欧州のCBを中心に反発する展開となりました。

#### ○為替相場

為替相場は大幅な円安米ドル高となりました。米ドル円為替相場は、期首から2014年9月末まで米国の金利先高観から円安米ドル高基調が続きました。10月に入ると、IMFが世界経済の成長率見通しを下げたことや欧米で軟調な経済指標が発表されたことをきっかけに株式市場は下落し、米国金利も低下したことから一時円高が進行しました。しかしその後は、米国の量的金融緩和終了の決定や日銀の予想外の追加金融緩和実施などから、急速に円安米ドル高が進行しました。12月以降は、原油価格やロシア・ルーブルの急落などを受けたリスク回避姿勢の高まりによる円高圧力と、金利先高観による米ドル高圧力が交錯し、期末まで一進一退の推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、ダイワ・プレミアム・トラストクレディ・スイス・グローバルCB・ファンド（ノンヘッジクラス）（以下、「グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の受益証券を通じて、魅力的な利回り水準を有する世界の転換社債（CB）に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。また、通常の状態、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券への投資比率は高位を維持しました。

○グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなってきました。償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、一部は残存期間の短い債券へ投資をしました。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行いません。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

◆分配金について

当期の1万口当り（税込み）分配金は300円といたしました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 《今後の運用方針》

○当ファンド

グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券に投資します。また、通常の状態、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっていきます。従って今後償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券などの組入比率が上昇することが想定されます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行いません。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期		項目の概要
	(2014.9.11～2015.3.10)		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	67円 (24) (41) (2)	0.605% (0.214) (0.375) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額(月末値の平均値)は11,063円です。 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.004 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	67	0.609	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。  
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。  
(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2014年9月11日から2015年3月10日まで)

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国(邦貨建)	918.176	99,375	4,733.314	510,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
(注2) 金額は受渡し代金。  
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年9月11日から2015年3月10日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	—	—	2,495	2,500

(注) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2014年9月11日から2015年3月10日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価		
	千口	千円	円		千口	千円	円		
				CS GLOBAL CB FUND (NON HEDGED CLASS) (ケイマン諸島)	4,733.315	510,000	107		

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2014年9月11日から2015年3月10日まで)

決算期	当 期						
	買付額等 A		うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C		うち利害 関係人との 取引状況D
区 分	百万円	%			百万円	百万円	
公 社 債	19,639	1,799	9.2	—	—	—	—
コール・ローン	429,971	—	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
CS GLOBAL CB FUND (NON HEDGED CLASS)	25,244,966	2,757,255	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千口 4,995	千口 2,499	千円 2,503

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,757,255	% 95.7
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,503	0.1
コール・ローン等、その他	122,569	4.2
投資信託財産総額	2,882,328	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,882,328,909円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	122,569,930
投資信託受益証券(評価額)	2,757,255,234
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	2,503,745
(B) 負 債	98,869,893
未 払 収 益 分 配 金	75,105,663
未 払 解 約 金	6,827,700
未 払 信 託 報 酬	16,818,346
そ の 他 未 払 費 用	118,184
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,783,459,016
元 本	2,503,522,108
次 期 繰 越 損 益 金	279,936,908
(D) 受 益 権 総 口 数	2,503,522,108口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C / D)	11,118円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,118円です。

■損益の状況

当期 自2014年9月11日 至2015年3月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	99,389,367円
受 取 配 当 金	99,375,977
受 取 利 息	13,390
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	35,436,120
売 買 益	35,436,127
売 買 損	△ 7
(C) 有 価 証 券 評 価 差 損 益	133,643,823
(D) 信 託 報 酬 等	△ 17,940,321
(E) 当 期 損 益 金 (A + B + C + D)	250,528,989
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	141,668,852
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 37,155,270
(H) 合 計 (E + F + G)	355,042,571
(I) 収 益 分 配 金	△ 75,105,663
次 期 繰 越 損 益 金 (H + I)	279,936,908

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程

・計算期間末における純資産額の元本超過額355,042,571円が、経費控除後の配当等収益76,902,539円を超過しているため、純資産額の元本超過額355,042,571円（1万口当り1,418.17円）を分配対象額として、うち75,105,663円（1万口当り300円）を分配金額としております。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	300円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《お知らせ》

●運用報告書（全体版）の電子交付について

2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に決めました。

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当しません。）には適用されなくなりました。

ダイワ・プレミアム・トラストクレディ・スイス・グローバルCB・ファンド  
円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス

当ファンド（ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストクレディ・スイス・グローバルCB・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2015年3月10日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表

2013年12月30日

<b>資産</b>		
投資、時価（費用 16,218,082,805円）	円	17,242,192,667
現金		803
外国通貨、時価（費用 14,230円）		14,569
為替先渡契約のカウンターパーティへの預託金		945,000,000
未収：		
利子		144,217,820
<b>資産合計</b>		<b>18,331,425,859</b>
<b>負債</b>		
為替先渡契約による評価損		147,080,543
未払い：		
投資運用報酬		27,628,976
専門家報酬		3,497,592
会計および管理報酬		1,871,061
受託会社報酬		1,230,591
保管報酬		836,711
名義書換代理報酬		314,103
<b>負債合計</b>		<b>182,459,577</b>
<b>純資産</b>	<b>円</b>	<b>18,148,966,282</b>
<b>純資産の内訳：</b>		
払込資本金	円	17,420,000,000
累積黒字		728,966,282
<b>純資産</b>	<b>円</b>	<b>18,148,966,282</b>
円ヘッジクラス	円	12,646,929,141
ノンヘッジクラス		5,502,037,141
	<b>円</b>	<b>18,148,966,282</b>
<b>発行済み受益証券数</b>		
円ヘッジクラス		123,905,955
ノンヘッジクラス		50,443,225
<b>1口当りの純資産</b>		
円ヘッジクラス	円	102.069
ノンヘッジクラス	円	109.074

(日本円建て)

損益計算書

2013年6月28日(業務開始日)～2013年12月30日

投資収益

利息収入およびその他の収益	円	481,482,350
<b>投資収益合計</b>		<b>481,482,350</b>

費用

投資運用報酬		54,582,098
専門家報酬		5,771,552
会計および管理報酬		4,640,989
保管報酬		3,085,149
受託会社報酬		2,389,792
名義書換代理報酬		796,953
<b>費用合計</b>		<b>71,266,533</b>

純投資収益

410,215,817

実現益および評価益(実現損および評価損) :

実現益(損) :

有価証券への投資		140,075,732
為替取引および為替先渡契約		(705,190,813)
<b>純実現損</b>		<b>(565,115,081)</b>

評価益(損)の純変動 :

有価証券への投資		1,024,109,862
為替換算および為替先渡契約		(140,244,316)
<b>評価益の純変動</b>		<b>883,865,546</b>

実現益および評価益

318,750,465

業務活動の結果生じた純資産の純増

円 728,966,282

## ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ

当ファンド（ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・クレディ・スイス・グローバルCB・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスに共通です。

（注）2015年3月10日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

### 投資明細表 2013年12月30日

元本金額	有価証券の明細	純資産に占める比率	公正価値	元本金額	有価証券の明細	純資産に占める比率	公正価値
	債券 (91.8%)				香港 (7.4%)		
	オーストラリア (1.6%)				転換社債 (7.4%)		
	転換社債 (1.6%)				China Precious Metal Resources Holdings Co., Ltd.		
USD 3,500,000	Paladin Energy, Ltd. 3.63% due 11/04/15		円 283,069,319	HKD 26,000,000	7.25% due 02/04/18		256,192,831
	転換社債計		283,069,319	HKD 7,800,000	Joyous King Group, Ltd. 3.30% due 10/22/14		107,495,342
	オーストラリア計 (費用 315,769,225円)		283,069,319	USD 3,000,000	Noble Group, Ltd. 0.00% due 06/13/14		467,930,915
	オーストラリア (3.4%)			HKD 30,000,000	Sherson, Ltd. 0.00% due 06/04/14		516,448,990
EUR 1,000,000	Conwert Immobilien Invest SE 4.50% due 09/06/18		156,679,621		転換社債計		1,348,068,078
EUR 2,500,000	Steinhoff Finance Holding GmbH 5.00% due 05/22/16		462,145,391		香港計 (費用 1,325,290,100円)		1,348,068,078
	転換社債計		618,825,012		インド (12.9%)		
	オーストラリア計 (費用 473,895,603円)		618,825,012		転換社債 (12.9%)		
	ベルギー (2.5%)			USD 3,500,000	Essar Energy Investment, Ltd. 4.25% due 02/01/16		266,526,307
EUR 1,166,000	Cofinimmo 3.13% due 04/28/16		172,638,713	USD 500,000	Fortis Healthcare, Ltd. 5.00% due 05/18/15		52,911,380
EUR 2,000,000	Nyrstar NV 7.00% due 07/10/14		281,495,152	USD 3,000,000	Jaiprakash Power Ventures, Ltd. 5.00% due 02/13/15		294,623,169
	転換社債計		454,133,865	USD 1,700,000	REI Agro, Ltd. 5.50% due 11/13/14		95,865,022
	ベルギー計 (費用 419,943,887円)		454,133,865	USD 4,500,000	Sesa Sterlite, Ltd. 5.00% due 10/31/14		472,421,162
	中国 (16.5%)			USD 7,300,000	Tata Steel, Ltd. 4.50% due 11/21/14		772,506,150
	転換社債 (16.5%)			USD 2,500,000	Videocon Industries, Ltd. 6.75% due 12/16/15		207,444,121
USD 1,900,000	361 Degrees International, Ltd. 4.50% due 04/03/17		192,282,319	USD 1,800,000	Welspun Corp., Ltd. 4.50% due 10/17/14		184,336,421
USD 3,000,000	Agile Property Holdings, Ltd. 4.00% due 04/28/16		315,026,217		転換社債計		2,346,633,732
USD 2,600,000	China Hongqiao Group, Ltd. 6.50% due 04/10/17		287,086,908		インド計 (費用 2,349,411,895円)		2,346,633,732
USD 5,000,000	China Huiyuan Juice Group, Ltd. 4.00% due 04/29/16		527,800,864		日本 (2.7%)		
HKD 86,000,000	China Petroleum & Chemical Corp. 0.00% due 04/24/14		1,401,861,708		転換社債 (2.7%)		
USD 2,500,000	Home Inns & Hotels Management, Inc. 2.00% due 12/15/15		272,762,760	JPY 500,000,000	Yamada Denki Co., Ltd. 0.00% due 03/31/15		497,500,000
	転換社債計		2,996,820,776		転換社債計		497,500,000
	中国計 (費用 2,795,392,391円)		2,996,820,776		日本計 (費用 499,815,423円)		497,500,000
	フィンランド (2.5%)				ルクセンブルグ (1.8%)		
	転換社債 (2.5%)				転換社債 (1.8%)		
EUR 3,000,000	Solidium Oy 0.50% due 09/29/15		452,583,262	USD 3,000,000	ArcelorMittal 5.00% due 05/15/14		318,846,865
	転換社債計		452,583,262		転換社債計		318,846,865
	フィンランド計 (費用 392,754,490円)		452,583,262		ルクセンブルグ計 (費用 300,713,372円)		318,846,865
	フランス (3.4%)				オランダ (5.4%)		
	転換社債 (3.4%)				転換社債 (5.4%)		
EUR 2,898,350	Neopost S.A. 3.75% due 02/01/15		444,269,000	CHF 4,000,000	Pargesa Netherlands NV 1.75% due 06/15/14		477,776,501
EUR 1,129,500	Peugeot S.A. 4.45% due 01/01/16		173,163,050	EUR 2,000,000	Salzgitter Finance BV 1.13% due 10/06/16		288,750,182
	転換社債計		617,432,050	EUR 1,400,000	Wereldhave NV 2.88% due 11/18/15		207,711,500
	フランス計 (費用 554,927,665円)		617,432,050		転換社債計		974,238,183
					オランダ計 (費用 863,641,086円)		974,238,183

元本金額	有価証券の明細	純資産に占める比率	公正価値	元本金額	有価証券の明細	純資産に占める比率	公正価値
	ノルウェー (2.2%)				英国 (3.0%)		
	転換社債 (2.2%)				転換社債 (3.0%)		
	Frontline, Ltd.				London Mining Jersey PLC		
USD	2,600,000	4.50% due 04/14/15	202,087,336	USD	2,800,000	8.00% due 04/30/19	275,687,460
		REC Silicon ASA				Petropavlovsk 2010, Ltd.	
EUR	1,400,000	6.50% due 06/04/14	199,078,015	USD	3,700,000	4.00% due 02/18/15	274,049,859
		転換社債計	401,165,351			転換社債計	549,737,319
		ノルウェー計 (費用 338,333,092円)	401,165,351			英国計 (費用 558,279,229円)	549,737,319
		シンガポール (1.5%)				米国 (9.1%)	
		転換社債 (1.5%)				転換社債 (9.1%)	
		Golden Agri-Resources, Ltd.				Annaly Capital Management, Inc.	
USD	2,800,000	2.50% due 10/04/17	276,746,212	USD	3,600,000	5.00% due 05/15/15	382,616,238
		転換社債計	276,746,212			Apollo Investment Corp.	
		シンガポール計 (費用 265,620,193円)	276,746,212	USD	5,000,000	5.75% due 01/15/16	558,654,895
		南アフリカ (1.8%)				Ares Capital Corp. (a)	
		転換社債 (1.8%)		USD	1,700,000	5.13% due 06/01/16	190,277,463
		Aquarius Platinum, Ltd.				BPZ Resources, Inc.	
USD	3,800,000	4.00% due 12/18/15	319,306,393	USD	1,200,000	6.50% due 03/01/15	114,068,008
		転換社債計	319,306,393			Dendreon Corp.	
		南アフリカ計 (費用 316,469,380円)	319,306,393	USD	3,500,000	2.88% due 01/15/16	233,440,283
		韓国 (4.7%)				Fifth Street Finance Corp.	
		転換社債 (4.7%)		USD	1,500,000	5.38% due 04/01/16	167,005,647
		Celltrion, Inc.				転換社債計	1,646,062,534
USD	4,000,000	2.75% due 03/27/18	357,539,133			米国計 (費用 1,597,148,911円)	1,646,062,534
		Hanjin Shipping Co., Ltd.				債券計 (費用 15,643,815,290円)	1,646,062,534
USD	3,400,000	4.00% due 07/20/16	321,407,093			短期投資 (3.2%)	16,656,947,148
		Hanwha SolarOne Co., Ltd.				グランド・ケイマン (1.4%)	
USD	1,800,000	3.50% due 01/15/18	172,519,984			定期預金 (1.4%)	
		転換社債計	851,466,210			Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.	
		韓国計 (費用 855,003,882円)	851,466,210	JPY	54,768,124	0.01% due 01/06/14	54,768,124
		台湾 (1.2%)				Brown Brothers Harriman & Co.	
		転換社債 (1.2%)		CHF	200	0.00% due 01/03/14	23,676
		AU Optronics Corp.		HKD	152,908	0.01% due 01/02/14	2,071,057
USD	1,000,000	0.00% due 10/13/15	108,054,754			Wells Fargo & Co.	
		Wistron Corp.		EUR	1,339,273	0.08% due 01/02/14	194,329,338
USD	1,000,000	0.00% due 01/19/15	107,372,027			定期預金計	251,192,195
		転換社債計	215,426,781			グランド・ケイマン計 (費用 245,260,326円)	251,192,195
		台湾計 (費用 204,410,305円)	215,426,781			英国 (1.8%)	
		UAE (8.2%)				定期預金 (1.8%)	
		転換社債 (8.2%)				ANZ National Bank	
		Aabar Investments PJSC		USD	3,180,400	0.03% due 01/02/14	334,053,324
EUR	7,500,000	4.00% due 05/27/16	1,286,860,891			定期預金計	334,053,324
		Polarcus, Ltd.				英国計 (費用 329,007,189円)	334,053,324
USD	2,000,000	2.88% due 04/27/16	202,024,315			短期投資計 (費用 574,267,515円)	585,245,519
		転換社債計	1,488,885,206			投資計 (費用 16,218,082,805円)	95.0 円 17,242,192,667
		UAE (費用 1,216,995,161円)	1,488,885,206			負債を上回る現金とその他の資産	5.0 円 906,773,615
						純資産	100.0% 円 18,148,966,282

円ヘッジクラスの為替先渡契約

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	純評価損
JPY	Credit Suisse First Boston	6,830,883,050	2014年1月31日	USD	65,710,000	円 (69,978,114)
JPY	Credit Suisse First Boston	332,659,768	2014年1月31日	CHF	2,858,000	(6,046,086)
JPY	Credit Suisse First Boston	1,594,092,300	2014年1月31日	HKD	118,900,000	(16,124,246)
JPY	Credit Suisse First Boston	2,997,004,650	2014年1月31日	EUR	21,037,000	(54,932,097)
						円 (147,080,543)

通貨の略称:

CHF	—	スイス・フラン
EUR	—	ユーロ
HKD	—	香港ドル
JPY	—	日本円
USD	—	米ドル

〈補足情報〉

当ファンド（ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）が投資対象として  
いる「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっ  
ておりますので、当ファンドの決算日（2015年3月10日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組  
入資産の内容等を19ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2014年9月11日から2015年3月10日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
496	国庫短期証券 2015/3/9	2,999,997			
491	国庫短期証券 2015/5/14	1,999,998			
486	国庫短期証券 2014/12/3	1,999,974			
514	国庫短期証券 2015/5/25	1,499,968			
502	国庫短期証券 2015/3/30	1,199,993			
508	国庫短期証券 2015/4/27	1,000,000			
500	国庫短期証券 2015/3/23	999,999			
515	国庫短期証券 2015/6/1	999,995			
516	国庫短期証券 2015/6/8	999,995			
503	国庫短期証券 2015/4/6	999,990			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年3月10日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（17,696,433千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2015年3月10日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国 債 証 券	千円 10,000,000	千円 9,999,952	% 56.4	% —	% —	% —	% —	% 56.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年3月10日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	438	国庫短期証券	—	千円 300,000	千円 299,999	2015/03/20
	500	国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2015/03/23
	502	国庫短期証券	—	1,200,000	1,199,998	2015/03/30
	503	国庫短期証券	—	1,000,000	999,992	2015/04/06
	508	国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/04/27
	491	国庫短期証券	—	2,000,000	1,999,998	2015/05/14
	514	国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,973	2015/05/25
	515	国庫短期証券	—	1,000,000	999,995	2015/06/01
	516	国庫短期証券	—	1,000,000	999,995	2015/06/08
	合 計	銘 柄 数	9銘柄		10,000,000	9,999,952

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

## 運用報告書 第3期（決算日 2014年12月9日）

（計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第3期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

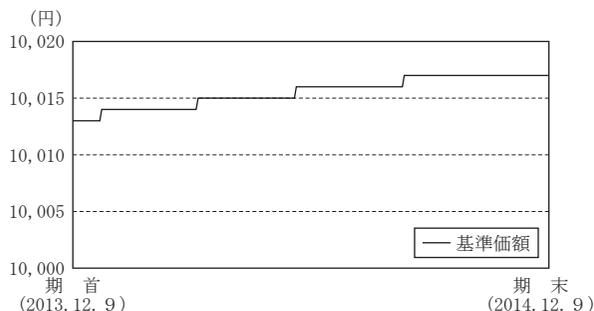
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額 円	公 社 債 率	
		騰 落 率 %	組 入 比 率 %
(期首) 2013年12月9日	10,013	—	64.6
12月末	10,013	0.0	66.4
2014年1月末	10,014	0.0	76.5
2月末	10,014	0.0	77.7
3月末	10,015	0.0	70.6
4月末	10,015	0.0	72.5
5月末	10,015	0.0	77.2
6月末	10,016	0.0	66.1
7月末	10,016	0.0	76.4
8月末	10,017	0.0	80.2
9月末	10,017	0.0	66.3
10月末	10,017	0.0	66.6
11月末	10,017	0.0	85.2
(期末) 2014年12月9日	10,017	0.0	53.3

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

期首：10,013円 期末：10,017円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国 債 証 券	千円	千円
		21,368,540	(19,920,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

		当 期	
		買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
496 国庫短期証券 2015/3/9	2,999,997		
486 国庫短期証券 2014/12/3	1,999,974		
476 国庫短期証券 2014/12/1	1,799,916		
490 国庫短期証券 2015/2/9	999,950		
492 国庫短期証券 2015/2/16	999,945		
493 国庫短期証券 2015/2/23	799,984		
473 国庫短期証券 2014/11/17	799,952		
475 国庫短期証券 2014/11/25	799,936		
454 国庫短期証券 2014/8/25	799,922		
434 国庫短期証券 2014/6/2	799,920		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債 (種類別)

区 分	当 期			末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	組入比率
	千円	千円	%	%	%	%
国債証券	6,340,000	6,339,912	53.3	—	—	53.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	当 期			末		
	銘柄	年利率	額面金額	評 価 額	債還年月日	率
			千円	千円		
国債証券	479 国庫短期証券	—	340,000	339,999	2014/12/15	
	481 国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/22	
	490 国庫短期証券	—	1,000,000	999,965	2015/02/09	
	492 国庫短期証券	—	1,000,000	999,961	2015/02/16	
	493 国庫短期証券	—	800,000	799,988	2015/02/23	
	496 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,997	2015/03/09	
合計	銘柄数 金額	6銘柄	6,340,000	6,339,912		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公 社 債	6,339,912	53.3		
コーポレートローン等、その他	5,565,721	46.7		
投資信託財産総額	11,905,634	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資 産	11,905,634,225円	
コ ー ポ レ ー ト ロ ー ン 等	5,565,721,829	
公 社 債 (評価額)	6,339,912,396	
(B) 負 債	—	
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	11,905,634,225	
本 金	11,884,993,463	
次 期 繰 越 損 益	20,640,762	
(D) 受 益 権 総 口 数	11,884,993,463口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,017円	

\*期首における元本額は7,555,798,942円、当期中における追加設定元本額は7,270,665,044円、同解約元本額は2,941,470,523円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり4,998,495円、ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジなし2,499,247円、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドⅡ (為替ヘッジあり) 999円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型) 4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-04 (為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-07 (為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-10 (為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ48,492,145円、ダイワ・スイス高配当株ツインα (毎月分配型) 2,996,106円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり (毎月分配型) 29,988,005円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし (毎月分配型) 1,999,201円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース (毎月分配型) 1,002,195円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース (毎月分配型) 3,011,774円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス -インカムチェンジ (積立型) -7,515,709円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド (限定追加型) -シフト11-4,694,526,114円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド (限定追加型) -シフト12-7,087,950,486円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,017円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至2014年12月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,880,333円
受 取 利 息	2,880,333
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,353
売 買 益	1,353
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	2,881,686
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	9,949,597
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 4,529,477
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	12,338,956
(G) 合 計 (C+D+E+F)	20,640,762
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	20,640,762

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託(当ファンドは該当します。)には適用されなくなりました。